

# 低用量ピル 比較とポイント

薬剤名	ルナベルLD	ルナベルULD	ヤーズ	ヤーズフレックス	ジェミーナ
適応	月経困難症	月経困難症	月経困難症	子宮内膜症に伴う疼痛の改善 月経困難症	月経困難症
黄体ホルモン	ノルエチステロン	ノルエチステロン	ドロスピレノン	ドロスピレノン	レボノルゲストレル
成分量	1 mg	1 mg	3 mg	3 mg	0.09 mg
卵胞ホルモン	エチニルエストラジオール	エチニルエストラジオール	エチニルエストラジオール	エチニルエストラジオール	エチニルエストラジオール
成分量	0.035 mg	0.020 mg	0.020 mg	0.020 mg	0.020 mg
1シートあたりの錠数	21錠	21錠	28錠	28錠	21錠・28錠
プラセボ	—	—	4錠	—	—
月経困難症の 用法・用量	28日周期（21日服用+7日休薬） 初回は月経第1～5日目に投与開始		28日周期 （24日実剤+4錠プラセボ）	① 24日連続投与 □25日目以降に3日間連続で出血 □連続投与が120日 ▶4日間休薬 休薬後は出血の有無にかかわらず再開 ② 28日周期（24日服用+4日休薬）	①28日周期（21日服用+7日休薬） ②84日周期（77日服用+7日休薬） のいずれかを選択
各薬剤の特徴 指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 比較的軽症例が対象</li> <li>◆ 血栓症のリスクが高い場合は出血・凝固系の検査</li> <li>◆ 下痢や嘔吐で吸収低下 ▶妊娠の可能性UP</li> <li>◆ 飲み忘れ時 ：前日分は直ちに服用 ：当日分は定時に服用</li> </ul>		<p>&lt;ドロスピレノン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 男性化作用が少ない ▶多毛やアクネにも効果</li> <li>◆ α-スピロラクトン誘導体 ▶高K血症に注意</li> </ul> <p>&lt;製剤&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 血栓症のリスクが高い場合は出血・凝固系の検査</li> <li>◆ 投与初期は頭痛等副作用起きやすい</li> </ul>	<p>大まかな特徴は左記（ヤーズ）に同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 連続投与中に不正出血あった場合は4日休薬してリセットする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 基本的には77日間連続投与する</li> <li>◆ 77日間連続投与の方が投与開始時に不正出血はやや多い</li> <li>◆ 77日間連続投与は周期が長いので疼痛緩和効果が高い</li> <li>◆ 77日投与の場合、投薬時に28錠シートが2枚と21錠シートが1枚必要</li> <li>◆ 血栓のリスクは比較的低い</li> <li>◆ アンドロゲン活性が比較的高い ▶ニキビや体毛成長の問題あり</li> </ul>